

高西っ子情報

まとめて！

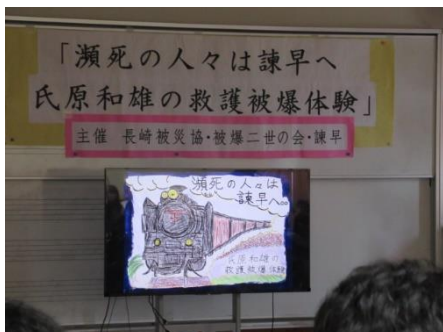
7月の高西っ子①

高西っ子の心を見つめる教育週間では、戦争についての話を聞きました。

低学年は、昨年に引き続き「永遠の会」の方に来ていただき、戦争のころの暮らしの様子や原子爆弾が落とされた時の様子などの話を聞きました。



高学年は、高来町に住む氏原和雄さんの「被爆救護」についての紙芝居を中心に、原子爆弾が落とされ、被爆者の救護にあたった当時の様子の話を聞きました。



当日は、テレビ局や新聞社の取材が入りました。氏原さんの話をもとに紙芝居を長崎被災協や被爆2世の会・諫早の方々が作られました。特に、氏原さんの娘さんは、戦争を語れる人が少なくなっているようで、しっかり引き継いでいきたいという強い思いがあらわれました。

私たちにとっても、貴重な機会となりました。子どもたちには、繰り返し学習することで、平和の大切さについて何度も考えてほしいと思います。



7月8日(火)の縦割り活動では、折り鶴を折りました。低学年の子どもたちは高学年に教えてもらいながら折りました。折った鶴は、6年生が糸を通し、彩りよく千羽鶴に仕上げています。

